

4 「子ども未来づくりパワーアッププロジェクトⅡ」の推進

(1) プロジェクトⅡの目的

第一期計画では、基本的施策の主な取組等を全庁を挙げて推進するとともに、道が主導して重点的に行う取組みを「子ども未来づくりパワーアッププロジェクト」とし、地域における支援体制の再構築や底上げを図り、社会全体の支える力の強化に努めてきました。

このプロジェクトでは、条例の目的及び計画のめざす姿である「子育て」と「子育て」の環境づくりと、それを支える「地域の基盤づくり」の3つのステージ毎に、本道の特徴的な少子化の要因、道民ニーズ、これまでの取組の状況などを踏まえた課題に対して取り組んできたところです。

第二期計画においては、これまでの取組を踏まえるとともに、子どもたちが生まれ、育ち、自立して親となり次の世代に引き継ぐまでの流れを社会全体でつくることを念頭においた「プロジェクトⅡ」とし、さらに少子化対策のパワーアップを図ることとします。

(2) プロジェクトⅡの課題と方向性

「プロジェクトⅡ」のターゲット（対象）は、「子育て」と「子育て」の環境づくりと、それを支える「地域の基盤づくり」の3つに、「若年者の自立」を加えた4つのステージとします。

これら4つのステージの課題に対する対応の方向性を定めて重点的に推進し、4つのステージが有機的な関係性の中で効果的に取組が行えるようにします。

この「プロジェクトⅡ」を少子化対策の核として、「安心子育て・健やか子育て～次代の親へ」の実現に向け、力強く推進していくこととします。

対象	課 題	対 応 の 方 向 性
子育てのステイジ	<ul style="list-style-type: none"> ● 出産や子育てに対する不安や不妊などから、子どもを持ちたくても持てない人が多くなっています。 ● 中小企業が多いことなどもあり、育児休業制度等の普及が遅れています。 ● 専門職等の人材の確保や市町村における財政的制約などから、様々な保育ニーズに十分対応できていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 出産等にかかる医療体制の充実や不妊等の悩みに対する相談体制の充実を進めます。 ● 仕事と家庭の両立に向けた制度の普及啓発や企業への支援等を進めます。 ● 市町村と連携し、多様なニーズに対応した保育施策の充実について、計画的に進めます。
子育てのステイジ	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの数が少なくなる中、4割近くの方が「子ども同士のつきあい」に不安を感じています。 ● 児童虐待件数が急増しているなど、社会的養護が必要な子どもたちへの環境の整備が課題となっているほか、事故や犯罪等の危険に巻き込まれそうになった人も多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童館活動の促進や、本道の自然環境を生かした遊び場等の整備、体験活動等を進めます。 ● 児童相談所等の体制整備や関係機関等との連携強化を図るとともに、安全安心な地域づくり、情報モラル教育の推進などを進めます。
若年者の自立のステイジ	<ul style="list-style-type: none"> ● 若年者の完全失業率が全国平均よりも高く、経済的に不安定な若者が多くなっています。 ● 道外への流出者が流入者を大きく上回っており、本道に定住するための環境が不十分です。 ● 若者の勤労観や職業観の希薄化や社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質をめぐる課題等が問題となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若年無業者等に対する就職相談や情報提供等の促進、農業など北海道の特性を活かした就業支援などにより、若年者の経済的自立に向けた支援を進めます。 ● 経済界等に対し、正規職員としての採用枠の拡大等の求人要請を実施するなど、若年者の定着に向けた取組を進めます。 ● キャリア教育や職業能力開発等により、勤労観・職業観の育成やものづくり人材の養成に努めるとともに次代の親づくり教育を進めます。
地域の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 核家族の割合が高く家庭内の子育てサポート体制が弱いとともに、地域全体で子育てを支援する体制が整っていません。 ● 初婚年齢及び生涯未婚率ともに全国よりも高いとともに、上昇傾向が続いています。 ● 家庭教育への支援、家庭・学校・地域社会のより一層の連携・協力を通じて、地域全体で子どもたちを守り育てていく取組の充実が課題となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における子育て支援拠点の整備を図るとともに、住民参加による地域ぐるみの取組の促進を進めます。 ● 少子化に関する情報等の普及啓発や、結婚や子どもを生き育てることの意義や喜びを伝えるなど「次代の親づくり教育」を進めます。 ● 北海道家庭教育サポート企業等制度の取組を通じた支援や体験活動の充実など、家庭教育・地域教育力の向上に向けた取組を進めます。